

- 株式会社東海理化は、100年に1度の変革期と言われる自動車業界・新しい生活様式へと移行するウィズコロナ時代といった経営環境の変化の中において、これからも自動車部品の事業を含む更に広い分野で社会課題への解決に取り組む「SDGs経営」の推進を目指す。
- 同社は、2030年に向けた次世代の成長コア領域での飛躍に向けた土台作りとして、2025年までを経営基盤強化のフェーズと位置づけ、「DX推進」「カーボンニュートラル対応」を戦略の柱として取り組む。
  - 設計・生産・バックオフィス業務の全領域でDX推進活動を展開し、開発～生産までのリードタイムを大幅に短縮する。
  - 太陽光発電設備の導入をはじめとしたカーボンニュートラルに向けた取組により、エネルギー使用量を低減する。
 以上の取組により、データ活用による業務プロセス効率化と、SDGsに資する環境へ配慮した生産体制の構築で、ウィズコロナ時代に必要な製品競争力の強化につなげる。

## <事業適応計画の概要>

### 1. 事業適応計画の実施期間

令和4年（2022年）7月29日～  
令和8年（2026年）3月31日

### 2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

計画最終年度である2025年度において、基準年度に対して、ROAを5%ポイント以上向上させることを目標とする

### 3. 前向きな取組の内容

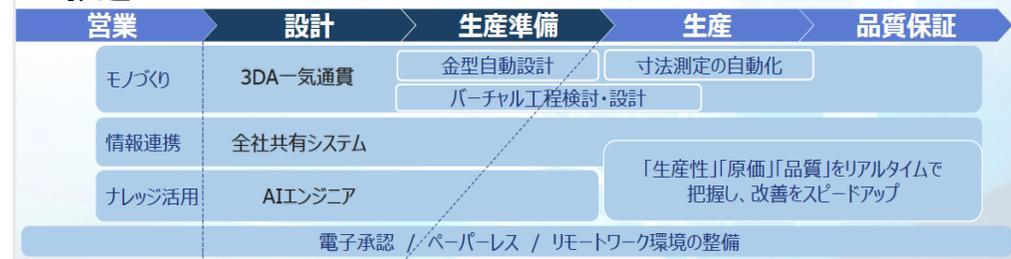
商品等1単位あたりの製造に係る製造原価を5%ポイント以上削減することを目標とする

### 4. 支援措置

税制措置（繰越欠損金の控除上限の特例）

## <事業適応計画のイメージ>

### DX推進



### カーボンニュートラル対応



製品・生産・物流・調達の観点からライフサイクル全体でCNに貢献

### 2025年までの成長戦略

